

平成19年度当初予算案主要事項説明資料

農 林 水 産 部

主 要 事 項 説 明 資 料 目 次

頁	事 業 名	担 当 課 (室)
1	農と環境を守る地域協働活動支援事業費	耕地課・農産流通課
2	中山間地域等直接支払事業費	農 村 振 興 課
3	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費	農 村 振 興 課
4	農業法人出資育成事業費	農 村 振 興 課
5	担い手活用農地バンクシステム整備事業費	農 村 振 興 課
6	京の稲作担い手緊急支援事業費	農 村 振 興 課
7	農のあるライフスタイル実現プロジェクト推進事業費	農 村 振 興 課
8	「いただきます。地元産」プラン推進事業費	農 産 流 通 課
9	ブランド京野菜等倍増戦略事業費	農 産 流 通 課
10	伸ばそう京の特産産地づくり支援事業費	農 産 流 通 課
11	食の安心・安全推進事業費	食の安心・安全プロジェクト
12	鶏卵・鶏肉トレーサビリティシステム支援事業費	畜 産 課
13	森林整備地域活動支援事業費	林 務 課
14	低コスト高生産システム技術養成事業費	林 務 課
15	丹後水産物ブランド化推進事業費	水 産 課
16	緑の公共事業費	共 通
17	農林水産部関係公共事業費	各 課

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農と環境を守る地域協働活動支援事業費																	
予算額	150,672千円	新規・継続の別	新規															
事業内容 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-top: 1px solid black; border-bottom: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 目的 対象 方法等 </div>	1 趣旨 地域ぐるみで農地や農業用水等の保全を行う協働活動と、化学肥料及び化学農薬使用の低減の取組等を総合的に支援することにより、農地・水・農村環境といった資源の保全を図るとともに、環境への負荷を低減する営農活動を推進することにより、地域コミュニティづくりをはじめとした地域力の再生を図る。																	
	2 事業内容 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区分</th> <th style="width: 70%;">事業内容</th> <th style="width: 20%;">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">農地・水・農村環境保全向上活動支援事業</td> <td>農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの協働活動を総合的に支援する。</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">140,400 千円</td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">環境保全・自然共生農業推進事業</td> <td>上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">10,272 千円</td> </tr> <tr> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円^{ほか}</td> </tr> </table> </td> </tr> </tbody> </table>			区分	事業内容	予算額	農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの協働活動を総合的に支援する。	140,400 千円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円</td> </tr> </table>	支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円	環境保全・自然共生農業推進事業	上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。	10,272 千円	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円^{ほか}</td> </tr> </table>	支援単価	(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円 ^{ほか}
	区分	事業内容	予算額															
農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの協働活動を総合的に支援する。	140,400 千円																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円</td> </tr> </table>		支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円														
支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円																	
環境保全・自然共生農業推進事業	上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。	10,272 千円																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">支援単価</td> <td>(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円^{ほか}</td> </tr> </table>		支援単価	(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円 ^{ほか}														
支援単価	(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円 ^{ほか}																	
担当課・係名	耕地課 農産流通課	田園整備担当 環境保全係	課・係 電話番号 075 - 414 - 5051 075 - 414 - 4967															

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	中山間地域等直接支払事業費																	
予算額	492,379千円	新規・継続の別	継続															
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	1 趣 旨 耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保するという観点から直接支払を実施する。																	
	2 事業概要 (1)対象地域：地域振興8法（特定農山村・山村・過疎・半島等）及び知事特認地域 (2)対象農用地：農振農用地区域内の一団の農用地（1ha以上）であって、以下の基準を満たすもの ①急傾斜農用地（田1/20、畑15度以上） ②自然条件により小区画・不整形な田 ③緩傾斜農用地（田1/100、畑8度以上）、又は高齢化率・耕作放棄率の高い農用地で市町村長が特に必要と認めるもの (3)対象行為：集落協定等に基づき、5年間以上継続して行われる農業生産活動等 (4)対象者：集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動等を行う者 (5)実施期間：平成17年度～21年度 (6)交付単価： (単位：円/10a)																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>急傾斜 (田1/20～、畑15度～)</th> <th>緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>田</td> <td>21,000</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>11,500</td> <td>3,500</td> </tr> </tbody> </table>			急傾斜 (田1/20～、畑15度～)	緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)	田	21,000	8,000	畑	11,500	3,500							
		急傾斜 (田1/20～、畑15度～)	緩傾斜等 (田1/100～、畑8度～)															
	田	21,000	8,000															
	畑	11,500	3,500															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>※加算単価</th> <th>水田</th> <th>畑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>規模拡大加算</td> <td>1,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>土地利用調整加算</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>耕地放棄地復旧加算</td> <td>1,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>法人設立加算</td> <td>1,000</td> <td>750</td> </tr> </tbody> </table>			※加算単価	水田	畑	規模拡大加算	1,500	500	土地利用調整加算	500	500	耕地放棄地復旧加算	1,500	500	法人設立加算	1,000	750
	※加算単価	水田	畑															
	規模拡大加算	1,500	500															
	土地利用調整加算	500	500															
耕地放棄地復旧加算	1,500	500																
法人設立加算	1,000	750																
※ただし、農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項を実施しない場合には、上記単価に0.8を乗じた額とする。																		
(7)実施主体：市町村 (8)負担区分：																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>国</th> <th>府</th> <th>市町村</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8法地域</td> <td>1/2</td> <td>1/4</td> <td>1/4</td> </tr> <tr> <td>特認</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> </tbody> </table>				国	府	市町村	8法地域	1/2	1/4	1/4	特認	1/3	1/3	1/3				
	国	府	市町村															
8法地域	1/2	1/4	1/4															
特認	1/3	1/3	1/3															
(9)平成19年度対象見込面積 5,142ha（田：5,080ha、畑：62ha）																		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4908															

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費																	
予算額	29,140千円	新規・継続の別	一部新規															
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣旨 農林水産業の新たな担い手の確保を図るため、「農林水産業ジョブカフェ」を設置し、農林水産業への就業希望者の相談窓口となるとともに、農村地域と就業希望者の結び付けを促進するイベントの開催や、農林水産業への就業情報の提供等を行う。 併せて、新規就農希望者の研修に必要な農地、住居、指導者、担い手づくり後見人等を確保・整備し、地域において技術習得から就農まで一貫して支援する「担い手養成実践農場」を設置することにより、円滑に就農できる総合的なシステムを構築する。</p> <p>2 事業概要 (1) 農林水産業ジョブカフェ事業</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td colspan="2">京都府（京都府農業会議に委託）</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="2"> 農林水産業ジョブカフェの設置（京都テルサ内） ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動 </td> </tr> </table> <p>(2) 実践農場整備事業 就農希望者が研修を修了し、就農後も同じ地域・農地で継続して営農できる「担い手養成実践農場」の整備</p> <table border="1"> <tr> <td>実施主体</td> <td>府（一部を府農業開発公社に委託）</td> <td>市町村（補助金）</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td> ①農場運営管理者の設置 研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ②研修期間中における農場指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担 </td> <td> ①農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ②農地の簡易整備費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費 </td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td colspan="2">新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）</td> </tr> </table> <p>○市町村に対する補助金は、地域課題対応型ふるさと推進事業費で計上</p>			実施主体	京都府（京都府農業会議に委託）		事業内容	農林水産業ジョブカフェの設置（京都テルサ内） ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動		実施主体	府（一部を府農業開発公社に委託）	市町村（補助金）	事業内容	①農場運営管理者の設置 研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ②研修期間中における農場指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担	①農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ②農地の簡易整備費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費	対象者	新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）	
	実施主体	京都府（京都府農業会議に委託）																
	事業内容	農林水産業ジョブカフェの設置（京都テルサ内） ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動																
	実施主体	府（一部を府農業開発公社に委託）	市町村（補助金）															
事業内容	①農場運営管理者の設置 研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ②研修期間中における農場指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担	①農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ②農地の簡易整備費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費																
対象者	新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）																	
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4908															

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農業法人出資育成事業費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 （目的対象方法等）	<p>1 趣 旨 継続的で発展性のある農業経営の確保と担い手育成機能を発揮する農業法人化を促進するため、出資方式による支援制度を創設し、農業法人における自己資本の充実と経営強化を図る。</p> <p>2 事業概要 (1) 農業法人出資育成事業費：9,000千円 市町村、JA等が出資する京野菜等の生産に取り組む農業法人に対して出資することにより、中核的な担い手の育成と京野菜等の産地拡大を促進する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>▶出資対象法人 市町村やJA等が出資する次の事業を展開する農業法人</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 農業大学の卒業生等、新規就農者のインキュベート機能により将来の中核的な京野菜等の生産農業者を生み出す。 ② 京野菜等の計画出荷により産地の維持・拡大を図る。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>▶1法人当たりの出資金額</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上限：2千万円 (市町村及びJAの出資金額の2分の1以内) </div> <p>(2) 農業法人出資審査会設置運営費：1,000千円 農業法人出資育成事業の適正かつ円滑な出資運営を図るため、「京都府農業法人出資審査会」(仮称)を設置する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>▶審査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出資対象法人の適格性 ○ 事業計画の妥当性等 </div>		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4902

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	担い手活用農地バンクシステム整備事業費			
予算額	26,490千円	新規・継続の別	新規	
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	1 趣 旨 都市住民や団塊の世代等の定年帰農者、さらには団地的農地利用を希望する中核的農業者・農作業受託組織など、幅広い層に対して遊休農地等の有効活用を図るため、農地の利用権移動を行う「担い手活用農地バンクシステム（仮称）」を京都府と市町村が連携して確立する。			
	2 事業概要			
		事業区分	事業主体	事業内容
		担い手活用農地バンク設置事業	府農業開発公社	・「担い手活用農地バンク」を設置し、農地の利用権設定や担い手の斡旋等を実施
	担い手活用農地バンク普及啓発事業	普及啓発事業	府農業会議	・普及啓発活動の実施 ・啓発用パンフレットの作成等
		集落等取組促進事業	農業委員会	・集落等への普及啓発活動の実施 ・農地活用に係る計画作成支援
		府指導費	府	・事業推進に係る指導
	農地有効活用促進事業	面的集積強化促進事業	市町村(※)	・農地活用計画に基づく農地の面的集積に係る促進費
		農地継承円滑化事業	府農業開発公社	・農地バンクが利用権設定した農地に係る管理耕作経費
		市町村推進事業	市町村	・農地バンクへの登録等に係る活動費 ・市町村農業公社の活動費
※ 交付対象者は農用地利用改善団体等				
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4902	

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	京の稲作担い手緊急支援事業費		
予算額	30,691千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣旨 平成19年度から国において「品目横断的経営安定対策」が施行され、一定の要件を満たす認定農業者や集落営農組織について米、麦、大豆等を対象とした新たな経営安定対策が実施されることとなっている。 農作業受託組織等が、品目横断的経営安定対策の対象となるよう、規模拡大や経営改善等に向けた取組に必要な支援を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>① 規模拡大支援（以下のア～ウの事業から1つ選択）</p> <p>ア 農業機械導入補助 規模拡大に必要な農業用機械の購入経費に対する補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【補助率】 1/3以内</p> <p>イ 農業機械リース補助 規模拡大に必要な農業用機械のリース料に対する補助 【事業主体】 京都府農業開発公社 (対象は農作業受託組織、農業法人) 【補助率】 1/3以内</p> <p>ウ 農作業受託及び利用権設定 農作業受託、利用権設定で規模拡大面積見合いで補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【交付単価】 7千円/10a(定額)</p> <p>② 経理一元化支援 経理の一元化に必要な経理用機器の購入経費に対する補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【補助率】 1/3以内</p>		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4918

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農のあるライフスタイル実現プロジェクト推進事業費								
予算額	3,000千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>農山村部で進行する担い手不足の中、長寿化に伴う新たな暮らし方として「農のあるライフスタイル」を求め、農山村に移り住んだ都市住民を農山村の多様な担い手として位置付け、共に地域の環境を守り、生き生きした農山村づくりを進める。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農のあるライフスタイル提案事業</p> <p>都市住民の農山村への定住を確実に進めるために、都市住民の受入れを考えている農村集落が田舎暮らしの希望者を対象に農村住宅の見学会や地域の暮らし・農作業の相談を行うなど、都市住民と農村住民のマッチングにつながる企画を実施する。</p> <p>(2) 京の田舎ぐらしナビゲーター事業</p> <p>田舎暮らしに必要な地域の共同作業や各種行事、住居等に関する相談を都市住民から受ける地域の相談役を、「京の田舎ぐらしナビゲーター」として認定し、その活動を支援する。</p> <p>(3) 京の田舎ぐらし・ふるさとセンター事業</p> <p>農のある暮らしを求める人の田舎暮らし相談に応じるとともに、希望者に応じた農村地域や京の田舎ぐらしナビゲーターの紹介、田舎ぐらし情報等の提供を行う。 (http://www.agr-k.or.jp/%7Ekyoto-j/index.shtml)</p> <table border="1"> <tr> <td>開設日</td> <td>平成17年11月20日(日)</td> </tr> <tr> <td>事務局</td> <td>京都府農業会議</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 農山村暮らしに関する窓口・電話相談への対応 京都府等が行う田舎暮らしに関する各種講座等の紹介 府内の農山村の就農情報、生活情報、住居情報などの提供 住居情報を提供している市町村窓口の紹介 京の田舎ぐらしナビゲーターの紹介等 </td> </tr> </table>			開設日	平成17年11月20日(日)	事務局	京都府農業会議	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 農山村暮らしに関する窓口・電話相談への対応 京都府等が行う田舎暮らしに関する各種講座等の紹介 府内の農山村の就農情報、生活情報、住居情報などの提供 住居情報を提供している市町村窓口の紹介 京の田舎ぐらしナビゲーターの紹介等
	開設日	平成17年11月20日(日)							
事務局	京都府農業会議								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 農山村暮らしに関する窓口・電話相談への対応 京都府等が行う田舎暮らしに関する各種講座等の紹介 府内の農山村の就農情報、生活情報、住居情報などの提供 住居情報を提供している市町村窓口の紹介 京の田舎ぐらしナビゲーターの紹介等 								
担当課・係名	農村振興課 地域振興担当	課・係 電話番号	075-414-4900						

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「いただきます。地元産」プラン推進事業費																	
予算額	6,500千円	新規・継続の別	継 続															
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>次代を担う子ども達やその親、また高齢者に、給食を通じ、より安心して新鮮な地元産農産物を提供するとともに、地域の食や農への理解を推進する。</p> <p>2 内 容</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地元産米の給食利用推進事業</td> <td>市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成</td> <td>千円 6,000</td> </tr> <tr> <td>「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業</td> <td>ブランド京野菜など地元農産物を利用した学校等給食の促進に向け、府内の気運を高めるため協議会を設置</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>地元産農産物利用促進啓発事業</td> <td>病院や福祉施設等での地元農産物利用を促進するため、意欲的な取組を行った施設を、「京都府産農産物利用推進施設」として認定</td> <td>350</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td>6,500</td> </tr> </tbody> </table>			事業名	事業内容	事業費	地元産米の給食利用推進事業	市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成	千円 6,000	「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業	ブランド京野菜など地元農産物を利用した学校等給食の促進に向け、府内の気運を高めるため協議会を設置	150	地元産農産物利用促進啓発事業	病院や福祉施設等での地元農産物利用を促進するため、意欲的な取組を行った施設を、「京都府産農産物利用推進施設」として認定	350	合 計		6,500
	事業名	事業内容	事業費															
	地元産米の給食利用推進事業	市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成	千円 6,000															
	「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業	ブランド京野菜など地元農産物を利用した学校等給食の促進に向け、府内の気運を高めるため協議会を設置	150															
	地元産農産物利用促進啓発事業	病院や福祉施設等での地元農産物利用を促進するため、意欲的な取組を行った施設を、「京都府産農産物利用推進施設」として認定	350															
合 計		6,500																
担当課・係名	農産流通課 野菜係	課・係直通 電話番号	075-414-4944															

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	ブランド京野菜等倍増戦略事業費		
予算額	147,260千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	○京野菜こだわりプロジェクト推進事業費 122,260千円		
	1 趣 旨		
	京都ならではの環境にやさしい農業への取組や、栽培方法等に係る情報の提供等を要件とした「京都こだわり栽培」の総合的な推進により、消費者等への信頼感を向上させ、ブランド京野菜の付加価値を高める。		
	2 内 容		
	事業名	事業内容	⑱予算額
	京野菜こだわり技術の実証、研究、普及事業	○土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等) ○環境にやさしい農業技術の実証・普及、研究・開発	千円 8,260
	京野菜こだわり産地支援事業	○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援	100,000
	京都こだわり生産認証事業	○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営	14,000
	○ブランド京野菜等倍増戦略推進事業費 25,000千円		
	1 趣 旨		
確かなものづくりにより京野菜の魅力を更に強化し、ブランドイメージを高めるとともに、ブランド京野菜を多くの消費者・流通関係者にPRし、需要の拡大を図る。			
2 事業内容			
事業名	事業内容	⑱予算額	
「京マーク」等PR事業	○「京マーク」や京野菜の品質の良さをメディアを活用してPR(府内、首都圏)	千円 6,000	
ブランド京野菜信頼感向上支援事業	○ブランド京野菜等地域団体商標キャンペーンの実施	2,500	
府内戦略構築事業	○京野菜検定の実施 ○京野菜ファンクラブの運営	4,500	
首都圏等戦略構築事業	○「ほんまもん京野菜取扱店」の開拓(開拓員の設置を含む。)・選定、京野菜フェアの開催、試食販売の実施、ブランド京野菜等グルメ企画の実施	12,000	
担当課 ・係名	京の農林水産物ブランド推進プロジェクト 農産流通課 野菜係 環境保全係	課・係直通 電話番号	075-414-4940 4944 4967

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	伸ばそう京の特産産地づくり支援事業費		
予算額	95,860千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	1 趣 旨		
	平成19年度から国において品目横断的経営安定対策が実施される中、本対策に参加できない中小規模農家が多い本府農業実態を踏まえ、環境等にこだわった市場競争力の高い京都米づくりと京都の立地条件を生かした有利販売を促進するとともに、実需業界からの評価が高い小豆、黒大豆を中心に、幅広い生産・出荷対策を講じ、京都らしい持続的な特産産地づくりを進め、収益性の高い水田農業の確立を図る。		
	2 事業概要 (単位：千円)		
	(1) 京の米 産地づくり事業費 58,000千円		
	事業内容		事業費
	環境等にこだわった米の生産に必要な農業機械への助成		10,550
	特別栽培米等の生産・出荷体制整備等に係る活動支援		1,650
	食味ランキング「特A」獲得に向けた食味向上促進、良食味栽培モデルほ場の設置 等		1,800
	米政策改革に係る地域水田農業推進協議会等の活動支援等		44,000
	(2) 「食べよう京都米」作戦推進事業費 5,000千円		
事業内容		事業費	
京都米の認知度向上、地元企業や京料理店等への販売促進活動、「京都米販売協力店」設置促進等への助成		2,000	
京都米の食味試験、残留農薬検査等安心感向上対策への助成		1,700	
米の販売力強化や新たな販路開拓に向けたセミナーの開催		300	
直売所等における安心・安全確保対策への助成		1,000	
(3) 京の黒大豆・小豆等産地づくり事業費 32,860千円			
事業内容		事業費	
小豆、黒大豆生産に係る農業機械への助成		15,500	
新たな産地づくりのための実証活動への助成		3,000	
・生産、実需者、販売者等関係者による情報交換会等実施 ・生産者部会づくりに対する助成 等		1,900	
麦・白大豆等に係る農業機械整備、品質向上対策等への助成		12,460	
担当課・係名	農産流通課 農産係	課・係 電話番号	075-414-4955

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	食の安心・安全推進事業費					
予算額	5,500千円	新規・継続の別	継 続			
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 食品生産・製造段階における品質管理の向上や情報提供を促進する登録制度の推進により「安心・安全の基盤」を強化し、併せて消費者と生産者・事業者の交流や食情報の提供による食の安心・安全に関する情報の共有化などにより「食の信頼づくり」を推進する。</p>					
	<p>2 事業概要</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>① 食の安心・安全登録制度推進事業</p> <p>府が定める基準を満たす品質管理が行われており、併せて、その生産・製造情報が公開できる食品を府が登録し、府民に情報提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定団体への業務委託（食品業種別登録基準の作成、登録審査業務） </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>② きょうと食の信頼づくり推進事業</p> <p>食品関連事業者や行政から食の安心・安全情報を積極的に提供するとともに、食品関連事業者と消費者が交流や学習活動を行い、信頼づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食の安心・安全フォーラム、セミナーや食の座談会の開催 ○ 消費者団体との意見交換会の開催 ○ 京都府食の安心・安全審議会の開催 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>③ 食情報提供事業</p> <p>民間事業者との連携等により食情報を幅広く、より迅速に提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メールマガジンを利用し、パソコンや携帯電話に食情報メールを配信 ○ 食料販売店の協力により、広告チラシを活用した食情報提供を実施 </td> </tr> </tbody> </table>			事 業 内 容	<p>① 食の安心・安全登録制度推進事業</p> <p>府が定める基準を満たす品質管理が行われており、併せて、その生産・製造情報が公開できる食品を府が登録し、府民に情報提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定団体への業務委託（食品業種別登録基準の作成、登録審査業務） 	<p>② きょうと食の信頼づくり推進事業</p> <p>食品関連事業者や行政から食の安心・安全情報を積極的に提供するとともに、食品関連事業者と消費者が交流や学習活動を行い、信頼づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食の安心・安全フォーラム、セミナーや食の座談会の開催 ○ 消費者団体との意見交換会の開催 ○ 京都府食の安心・安全審議会の開催
事 業 内 容						
<p>① 食の安心・安全登録制度推進事業</p> <p>府が定める基準を満たす品質管理が行われており、併せて、その生産・製造情報が公開できる食品を府が登録し、府民に情報提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 指定団体への業務委託（食品業種別登録基準の作成、登録審査業務） 						
<p>② きょうと食の信頼づくり推進事業</p> <p>食品関連事業者や行政から食の安心・安全情報を積極的に提供するとともに、食品関連事業者と消費者が交流や学習活動を行い、信頼づくりを推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 食の安心・安全フォーラム、セミナーや食の座談会の開催 ○ 消費者団体との意見交換会の開催 ○ 京都府食の安心・安全審議会の開催 						
<p>③ 食情報提供事業</p> <p>民間事業者との連携等により食情報を幅広く、より迅速に提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ メールマガジンを利用し、パソコンや携帯電話に食情報メールを配信 ○ 食料販売店の協力により、広告チラシを活用した食情報提供を実施 						
担当課・係名	食の安心・安全プロジェクト	課・係 電話番号	075-414-5654			

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	鶏卵・鶏肉トレーサビリティシステム支援事業費		
予算額	3,550 千円	新規・継続の別	継 続
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>京都府内で生産・流通・消費される鶏卵・鶏肉について、生産者と流通業者が一体となって取り組む衛生管理水準の向上とトレーサビリティを組み合わせた安心・安全な京都府産鶏卵・鶏肉の流通システムの構築に対して支援する。</p> <p>2 事業主体</p> <p>京都府鶏卵・鶏肉安全推進協議会</p> <p>3 事業概要</p> <p>生産・流通・消費の各段階の連携による京都府産鶏卵・鶏肉のトレーサビリティシステムに必要な情報関連機器の導入及びデータベース構築に係る支援</p> <p>・鶏卵・鶏肉の安心・安全の確保の実践</p>		
担当課・係名	畜産課 畜産係	庁内電話番号	075-414-4985

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	森林整備地域活動支援事業費			
予算額	239,625千円	新規・継続の別	継続	
事業内容 (目的 対象 方法等)	1 目的 ・効率的かつ安定的な林業経営の育成（森林施業の集約化） ・森林整備を通じた森林の多面的機能の発揮 （森林整備に不可欠な地域活動の確保）			
	2 事業概要			
	対象行為	①森林の現況調査 （対象地を限定）	②施業実施区域 の明確化作業	③歩道の整備等
	対象地	森林施業計画の認定を受けた30ヘクタール以上のまとまりある団地 （公有林及び緑資源機構林、治山事業の整備森林を除く。）		
		森林施業計画樹立 していない36～ 45年生の人工林	森林施業計画認定を受けた 45年生以下の人工林	
	助成単価	15,000円 （ha・年間当）	5,000円（ha・年間当）	
	対象者	対象森林の森林所有者等で、市町村長と締結する協定に基づき地域活動を行うもの		
	実施期間	平成19年度～23年度		
負担区分	国1/2 府1/4 市町村1/4			
担当課・係名	林務課計画指導担当	課・係電話番号	075 - 414 - 5002	

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	低コスト高生産システム技術養成事業費		
予算額	2,300千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的〕 〔対象〕 〔方法等〕	<p>1 趣旨</p> <p>林業採算性が悪化している現状において、森林整備の推進には作業路網の整備や高性能林業機械等を活用したコスト削減が不可欠であり、それを担う人材の育成・確保が必要である。</p> <p>そのため、高性能林業機械等を使用した低コスト林業の実践的な研修を実施することにより、低コスト林業推進の基幹的な担い手の養成を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>森林組合等の作業員に対して、高性能林業機械等を使用した低コスト林業実践のための実地研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○低コスト作業路網の開設 ○高性能林業機械による伐木・集運材 (スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ 等) <p>3 実施方法</p> <p>(財)京都府林業労働支援センターへの委託</p>		
担当課・係名	林務課 計画指導担当	課・係 電話番号	075-414-5002

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	丹後水産物ブランド化推進事業費		
予算額	9,200千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 目 的</p> <p>丹後とり貝や丹後アワビの生産額を各1億円以上にするなど为目标とする「丹後の海の恵みを生かすアクションプラン」の重点施策を推進するために、トリガイ・アワビのつくり育てる漁業の推進による丹後産水産物の生産拡大と統一的なブランド認証制度の創設並びに丹後地域での観光施設等を中心とした販売先の拡大などを展開して、京都府の漁業・漁村の活性化を目指す。</p> <p>2 事業内容</p> <p>① 「丹後とり貝」育成事業 5,200千円 「丹後とり貝」の生産拡大のための支援や、意欲ある担い手を確保・育成することにより、生産額1億円（21年度）の実現を図る。</p> <p>② 「丹後アワビ」育成事業 2,500千円 「丹後アワビ」の生産拡大のために、アワビ種苗放流による拠点漁場づくりや、海域を活用した養殖の事業化に向けた実証調査を実施することにより、アワビ生産額1億円（21年度）の実現を図る。</p> <p>③ 丹後水産物ブランド化等推進事業 1,500千円 丹後産水産物の統一的なブランド認証制度を創設するとともに、丹後地域での利用を促進するため、観光産業等と連携し、利用拡大キャンペーンを実施する。</p>		
担当課・係名	水産課 漁政係 経営係	課・係電話番号	075-414-4992 075-414-4996

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費																																										
予算額	1,216,288千円	新規・継続の別	一部新規																																								
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>地球温暖化の防止や水土保全、水源かん養等に不可欠な京都の森林について、「緑の公共事業アクションプラン」に基づき、「豊かな緑を守る条例」の制度を活用しながら、多様な主体の参加と連携で森林を守り育てる様々な取組を促進することにより、緑豊かな環境を守り、併せて新たな雇用を創出する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>▶京都モデルフォレストの推進 39,500千円</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>府民協働による森林づくり</td> <td>2事業</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">(</td> <td>38,500千円</td> </tr> <tr> <td>木のネットワークづくり</td> <td>1事業</td> <td>1,000千円</td> </tr> </table> <p>▶公益性の高い森林の緊急的整備 808,413千円</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>放置森林、台風被害森林の整備</td> <td>2事業</td> <td rowspan="5" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">(</td> <td>188,586千円</td> </tr> <tr> <td>水源地域等の森林整備</td> <td>2事業</td> <td>179,447千円</td> </tr> <tr> <td>京都・文化の森づくり</td> <td>1事業</td> <td>5,000千円</td> </tr> <tr> <td>低コスト高生産システム整備</td> <td>1事業</td> <td>2,300千円</td> </tr> <tr> <td>森林機能保全対策</td> <td>1事業</td> <td>433,080千円</td> </tr> </table> <p>▶森林整備による雇用の創出 1事業 4,080千円</p> <p>▶木質資源の積極的な利活用 197,000千円</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>公共事業での間伐材等の利用</td> <td>6事業</td> <td rowspan="2" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">(</td> <td>168,500千円</td> </tr> <tr> <td>間伐材等の利用拡大の促進</td> <td>1事業</td> <td>28,500千円</td> </tr> </table> <p>▶森林生態系の保全 167,295千円</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>野生鳥獣との共生の推進</td> <td>1事業</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">(</td> <td>10,000千円</td> </tr> <tr> <td>野生鳥獣害対策の推進</td> <td>2事業</td> <td>100,295千円</td> </tr> <tr> <td>森林病虫害対策の実施</td> <td>2事業</td> <td>57,000千円</td> </tr> </table>			府民協働による森林づくり	2事業	(38,500千円	木のネットワークづくり	1事業	1,000千円	放置森林、台風被害森林の整備	2事業	(188,586千円	水源地域等の森林整備	2事業	179,447千円	京都・文化の森づくり	1事業	5,000千円	低コスト高生産システム整備	1事業	2,300千円	森林機能保全対策	1事業	433,080千円	公共事業での間伐材等の利用	6事業	(168,500千円	間伐材等の利用拡大の促進	1事業	28,500千円	野生鳥獣との共生の推進	1事業	(10,000千円	野生鳥獣害対策の推進	2事業	100,295千円	森林病虫害対策の実施	2事業	57,000千円
府民協働による森林づくり	2事業	(38,500千円																																								
木のネットワークづくり	1事業		1,000千円																																								
放置森林、台風被害森林の整備	2事業	(188,586千円																																								
水源地域等の森林整備	2事業		179,447千円																																								
京都・文化の森づくり	1事業		5,000千円																																								
低コスト高生産システム整備	1事業		2,300千円																																								
森林機能保全対策	1事業		433,080千円																																								
公共事業での間伐材等の利用	6事業	(168,500千円																																								
間伐材等の利用拡大の促進	1事業		28,500千円																																								
野生鳥獣との共生の推進	1事業	(10,000千円																																								
野生鳥獣害対策の推進	2事業		100,295千円																																								
森林病虫害対策の実施	2事業		57,000千円																																								
担当課・係名	林務課緑の公共事業推進プロジェクト	直通電話番号	075-414-5015																																								

緑の公共事業一覧

(単位：千円、人)

No.	区分	事業内容	区分	予算額	担当部局
1	京都モデ	京都モデルフォレスト創造事業費	継続	16,500	農林水産部
2	ルフォレ	森林吸収源対策推進事業費	継続	22,000	農林水産部
3	スト推進	京都の木のネットワークづくり事業費	継続	1,000	農林水産部
4		いのちと環境の森づくり事業費	継続	52,737	農林水産部
5	公益性	風倒木被害森林緊急再生事業費 [公共造林]	継続	135,849	農林水産部
6	の高い	災害に強い森づくり事業費	継続	56,525	農林水産部
7	森林の	安心・安全の森整備事業費 [公共治山]	継続	122,922	農林水産部
8	緊急的	京都・文化の森づくり事業費	継続	5,000	農林水産部
9	整備	低コスト高生産システム技術養成事業費	新規	2,300	農林水産部
10		森林機能保全対策費	継続	433,080	農林水産部
11	雇用創出	緑の公共担い手育成事業費	継続	4,080	農林水産部
12		森のゼロエミッション治山事業費	継続	25,000	農林水産部
13	木質資	緑の河川復活事業費	継続	80,000	土木建築部
14	源の積	緑の溪流復活事業費	継続	10,000	土木建築部
15	極的な	緑の散策道等再生事業費	継続	10,000	土木建築部
16	利活用	府営住宅建設費	継続	18,000	土木建築部
17		府営住宅ストック総合活用事業費	継続	25,500	土木建築部
18		環境にやさしいウッドマレージ認証木材推進事業費	継続	28,500	農林水産部
19		人と野生鳥獣の共生の村づくり事業費	新規	10,000	農林水産部
20	森林生	特定鳥獣保護管理推進事業費	継続	27,000	農林水産部
21	態系の	野生鳥獣被害対策事業費	継続	73,295	農林水産部
22	保全	ナラ枯れ被害対策事業費	継続	2,000	農林水産部
23		松くい虫等防除関連事業費	継続	55,000	農林水産部
		合 計		1,216,288	

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 京都モデルフォレスト創造事業費		
予算額	16,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 森林所有者、ボランティア団体、NPO、企業、大学、行政等の様々な分野が連携した地域組織を設置し、府民参画、府民協働による多様な森づくりを推進するとともに、(社)京都モデルフォレスト協会が行う企業参加の森づくりや活動団体のネットワーク化等の取組と連携し、府民みんなで京都の森を守り育む「京都モデルフォレスト」運動を推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>① モデルフォレストネットワークづくり事業 多様な主体の参画による「地域協議会」を設置し、地域ごとの多様な活動を推進するとともに、(社)京都モデルフォレスト協会の取組を支援する。</p> <p>② 府民参画促進事業 条例に基づく重点区域内で森林所有者と協定を締結して森林の利用及び保全を行う活動団体に対して、その活動に係る経費の一部を助成する。</p> <p>③ 森林利用保全促進事業 市町村による重点区域候補地の調査を支援するとともに、森林利用保全計画の策定に向けた合意形成を図る。</p> <p>3 事業主体 府、市町村等</p> <p>4 (社)京都モデルフォレスト協会の概要</p> <p>① 設 立：平成18年11月21日</p> <p>② 役 員：理事 22名 理事長：柏原康夫(京都商工会議所副会頭) 監事 2名</p> <p>③ 会員数：235(うち法人会員120 H19.1.20現在)</p> <p>④ 主な事業</p> <p>ア 森づくり活動を希望する企業等への活動フィールドの斡旋等 イ 府民、企業等への森づくりに必要な資金や緑化募金等の呼びかけ ウ 森林整備に伴うCO2吸収量の認証 エ モデルフォレスト運動の普及啓発 等</p>		
担当課・係名	林務課緑の公共事業推進プロジェクト	課・係 電話番号	075-414-5015

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 森林吸収源対策推進事業費		
予算額	22,000千円	新規・継続の別	継続
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>府が所有している森林の数値データと図面データを電算機に取り込み、一元的に解析・処理できる地理情報システム（森林GIS）を構築し、森林情報の精度向上を図るとともに、放置森林の的確な整備等による森林の二酸化炭素吸収源対策を推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>1) 紙ベースで管理している森林計画図を電子化し、パソコン上で森林の数値データと図面データを一元管理するシステムを構築する。</p> <p>2) 市町村、森林組合等と連携し、新たなシステムの試行等を行う。</p> <p>例) 森林のゾーニング、放置森林の抽出、間伐材を利用する森林の範囲の抽出、他の電子化された地図等との重ね合わせ、森づくりのシミュレーション等</p> <p>3 実施主体 京都府</p>		
担当課・係名	林務課計画指導担当	課・係・電話番号	075-414-5002

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 京都の木ネットワークづくり事業費		
予算額	1,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>府内において京都の木で京都の家を建てる取組を進めている団体の取組を支援し、そのネットワークの充実強化促進を通じて、府内産木材利用の一層の拡大を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>京都の木の家づくり講座や見学会等の活動に対する助成</p> <p>3 実施主体</p> <p>府内産木材の生産者、流通業者、消費者等で組織する団体</p> <p>4 補助率</p> <p>1 / 2</p>		
担当課・係名	林務課普及指導支援室	課・係・電話番号	075-414-5005

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 いのちと環境の森づくり事業費		
予算額	52,737千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 放置された人工林等を対象に、環境保全の視点から間伐を軸にした森林整備を促進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>① 森林適正整備推進事業 水源かん養等の機能を高度に発揮するため、国庫補助対象とならない8齢級(36年生～40年生)から12齢級(56年生～60年生)の高齢級の間伐と間伐材の搬出、及びこれに伴う施業路開設の実施</p> <p>② 放置竹林拡大防止事業 放置されたことにより森林に侵入した竹林の伐採整理の実施</p> <p>3 事業主体 市町村、森林組合、森林所有者等</p> <p>4 補助率 1/2</p>		
担当課・係名	森林保全課森林整備担当	課・係 電話番号	075-414-5024

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 風倒木被害森林緊急再生事業費		
予算額	135,849千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>台風23号により被害を受けた森林の公益的機能を早急に回復するため、風倒木の伐採、造林等の森林整備を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風倒木の伐採及び跡地への造林 ・ 上記作業のための作業路の開設 <p>3 実施予定箇所</p> <p>激甚災害の指定5市町（南丹市(旧美山町地域)、京丹波町（旧和知町地域）、宮津市、伊根町、京丹後市）を含む14市町</p>		
担当課・係名	森林保全課森林整備担当	課・係 電話番号	075-414-5024

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 災害に強い森づくり事業費		
予算額	56,525千円	新規・継続の別	継続
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>山村集落の生活用水等を供給する水源山地の森林を対象として、 荒廃森林の整備、治山施設の設置等を一体的に実施することにより、 健全な森づくりを通じて集落への良質で安定的な水の供給を図るこ とを目的とする。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取水機能を備えた治山ダムの整備 ・ 治山ダム周辺荒廃森林の整備、風倒木処理 <p>3 実施予定箇所</p> <p>福知山市夜久野町今里 ほか3箇所</p>		
担当課・係名	森林保全課治山担当	課・係 電話番号	075-414-5028

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 安心・安全の森整備事業費		
予算額	122,922千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>暮らしの安心・安全を守る水源かん養や土砂流出防備機能など森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、公益性の高い保安林の改良及び保育を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本数調整伐 ・ 下刈り及び除伐 <p>3 実施予定箇所</p> <p>宇治田原町奥山田ほか25箇所</p>		
担当課・係名	森林保全課治山担当	課・係・電話番号	075-414-5028

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 京都・文化の森づくり事業費		
予算額	5,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>文化財や京町家等の修復、京都の祭事等に必要な用材を府が指定・登録した森林から供給するように、その活用を図るとともに、優れた景観形成に貢献する社寺等の後背林の整備を行う。</p> <p>2 事業概要</p> <p>① 京都・文化の森づくり事業推進委員会の開催</p> <p>京都・文化の森に指定・登録した備蓄林から必要な用材を供給することや景観保全林の整備地区について検討する。</p> <p>② 京の景観保全林整備事業</p> <p>世界文化遺産（社寺）等周辺の森林の枯損木、倒木等による文化財への危害を防ぐとともに、美しい景観を守るための不用木の伐採、整理等の実施</p> <p>3 事業主体</p> <p>②のうち軽微なもの 地域の保存会等 上記以外 府</p> <p>4 補助率</p> <p>②のうち軽微なもの 1/2</p>		
担当課・係名	林務課緑の公共事業推進プロジェクト	課・係・電話番号	075-414-5015

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 森 林 機 能 保 全 対 策 費		
予算額	433,080千円	新規・継続の別	継 続
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>公的な森林の機能保全対策を実施するための(社)京都府森と緑の 公社への貸付金</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (社)森と緑の公社の経営改善を図るための借入金の繰上償還資 金の貸付 		
担当課・係名	林務課計画指導担当	課・係 電話番号	075-414-5002

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 緑の公共担い手育成事業費		
予算額	4,080千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>林業労働者の高齢化等により担い手が年々減少している中で、新たな林業労働者の育成と地域での定着を促進するため、林業への本格的な就業を希望する者を対象に、技術習得のための実地研修を行い、即戦力となる担い手を養成する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>森林整備の実地研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象人数 12人 ・ 研修期間 100日間 ・ 研修方法 2人の指導員が研修生5人を指導 ・ 研修場所 府有林、公社造林地 ほか <p>3 実施方法</p> <p>(財)京都府林業労働支援センターへの委託</p>		
担当課・係名	林務課計画指導担当	課・係・電話番号	075-414-5002

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 森のゼロエミッション治山事業費		
予算額	25,000千円	新規・継続の別	継続
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産間伐材を利用した木製治山ダムの整備と、現地固有樹種による周辺森林整備を一体的に行い、ダムの建設等で排出される二酸化炭素をダムのライフサイクルの中で回収する、ゼロエミッション型の治山事業を推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木製治山ダムの整備 2基 ・ 治山ダム周辺荒廃森林の現地固有樹種による整備 <p>3 実施予定箇所</p> <p>南丹市美山町野添 ほか2箇所</p>		
担当課・係名	森林保全課治山担当	課・係・電話番号	075-414-5028

平成19年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 緑の河川復活事業費		
予算額	80,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産間伐材を利用した工法などにより、環境に配慮した事業を推進し、京都の優れた自然環境・景観の保全と活用を図るとともに、雇用・就業の機会を確保する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮した河川整備 木工沈床・階段工等に間伐材を利用し、生物の生息・育成環境に配慮するとともに、親水性の向上を図る。 ・ 河川施設の維持修繕 根固工・護岸工に間伐材を利用し、護岸・堤体の安定を図る。 		
担当課・係名	河川整備管理室 河川・海岸担当	課・係 電話番号	075-414-5285

平成19年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 緑の溪流復活事業費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産間伐材を利用した工法などにより、環境に配慮した事業を推進し、京都の優れた自然環境・景観の保全と活用を図るとともに、雇用・就業の機会を確保する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した溪流整備 <p>間伐材などの自然素材を活用し、良好な自然環境を保全・創設する護岸工、山腹工等を整備する。</p>		
担当課・係名	砂防室 管理・事業担当	課・係 電話番号	075-414-5314

平成19年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 緑の散策道等再生事業費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産間伐材を利用した工法などにより、環境に配慮した事業を推進するとともに、京都の優れた自然環境・景観の保全と活用を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した公園施設整備 <p>間伐材を利用した都市公園の案内板等の整備を実施</p>		
担当課・係名	公園緑地課建設係	課・係 電話番号	075-414-5272

平成19年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 府 営 住 宅 建 設 費											
予算額	18,000千円	新規・継続の別	継 続									
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>府営住宅の整備にあたり、府内産木材を積極的に活用することにより、「木」のぬくもりの感じられるより快適で住みやすい住宅づくりを促進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>住戸内部の壁、床部分に使用する木製パネルの枠材及び一部の内部壁仕上げに府内産木材を使用。</p> <p>3 実施箇所</p> <p>2団地2棟</p> <table border="1" data-bbox="480 1408 1307 1601"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>所在地</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>百合が丘</td> <td>宮津市字滝馬地内</td> <td>住戸棟</td> </tr> <tr> <td>明石</td> <td>与謝郡与謝野町明石地内</td> <td>住戸棟</td> </tr> </tbody> </table>			団地名	所在地	備考	百合が丘	宮津市字滝馬地内	住戸棟	明石	与謝郡与謝野町明石地内	住戸棟
団地名	所在地	備考										
百合が丘	宮津市字滝馬地内	住戸棟										
明石	与謝郡与謝野町明石地内	住戸棟										
担当課・係名	住宅課建設係	課・係・電話番号	075-414-5360									

平成19年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 府営住宅ストック総合活用事業費		
予算額	25,500千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>府営住宅の整備に当たり、住戸内部の仕上げ材及び木製パネルの枠材に府内産木材を積極的に活用することにより、「木」のぬくもりの感じられるより快適で住みやすい住宅づくりを促進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>府営住宅トータルリモデル事業における住戸内部の壁、床部分に使用している木製パネルの枠材に府内産木材を使用</p> <p>3 実施箇所</p> <p>西大久保団地（宇治市大久保町平盛） 2棟85戸</p> <p>※トータルリモデル（全面的改善）事業</p> <p>府営住宅の長期活用に向けた再生事業であり、建物の躯体（鉄筋コンクリート構造部分）を残して、住戸内部を解体・撤去し、新築とほぼ同水準の住宅に改善するもの。（約1/2のコストで新築並みの効果）</p>		
担当課・係名	住宅課建設係	課・係・電話番号	075-414-5360

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事業名</p>	<p>緑の公共事業費 環境にやさしいウッドマイレージ認証木材推進事業費</p>		
<p>予算額</p>	<p>28,500千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継続</p>
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 府独自のウッドマイレージCO₂認証制度を普及・定着させ、京都府産認証木材の利用と流通を促進し、輸送過程の二酸化炭素の排出量を抑制するとともに間伐等の森林整備を促進することにより、府内産木材の需要拡大と環境対策を府民レベルで推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>【認証木材普及事業 500千円】 ウッドマイレージCO₂認証制度を府民ぐるみの取組とするため、制度の普及啓発を実施。</p> <p>【間伐等素材生産コスト削減推進補助金 18,000千円】 生産コスト削減を図り、間伐材等の素材生産を行う事業体に対し、その供給量に応じた支援を行い、将来の森林資源の循環利用の基盤づくりを推進する。</p> <p>◆ 事業主体 森林組合、素材生産業者 ◆ 採択条件 間伐材等を大量かつ安定的に利用する加工施設との原木供給協定等により安定的出荷を行うこと。 素材生産に関する合理化計画によるコスト削減目標を示すこと。</p> <p>【緑の交付金（環境にやさしい京都の木の家づくり支援事業）10,000千円】 ウッドマイレージCO₂認証木材を一定量以上使用した木造住宅を新築、又は増改築する「緑の工務店※」に対し、その使用量に応じて緑の交付金を交付する。</p> <p>※緑の工務店：ウッドマイレージCO₂認証木材材を使用した木造建築物を積極的に推進する計画を有する工務店で、府に登録したもの</p> <p>◆ 対象となる住宅の条件 ・ 府内に居住用に供されるために新增改築される住宅 ・ ウッドマイレージCO₂認証木材を5m³以上使用する住宅</p> <p>◆ 交付金の額 ウッドマイレージCO₂認証木材1m³当たり 10,000円 1戸当たりの交付金の限度額 200,000円</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>林務課林産振興担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075-414-5009</p>

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 人と野生鳥獣の共生の村づくり事業費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	新規
<p>事業内容</p> <p>目的 対象 方法等</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>鳥獣害対策を推進していくためには、個別的に対策を行うだけでなく地域が主体となって取り組んでいくことが重要である。</p> <p>このため、府や市町村等関係者が地域と連携して里山の整備や奥山への広葉樹植栽をはじめ、様々な事業を組み合わせたプランを作成し、それぞれの事業を実施、検証しながらより効果的な対策を検討し、鳥獣被害ゼロを目指した地域づくりを進める。</p> <p>2 事業概要</p> <p>① 鳥獣被害ゼロのプラン作成 市町村が作成する計画づくりに助成</p> <p>② バッファゾーン等整備 放置された里山の整備、奥山への広葉樹植栽等 ボランティアや地域住民による耕作放棄地の刈り払い、誘因物の除去等</p> <p>③ 鳥獣被害対策研修 地域ぐるみで被害対策を推進するための研修会の開催</p> <p>④ 専門家のサポート 計画書作成や事業の効果検証等に対する専門家の支援</p> <p>3 事業主体</p> <p>①② 市町村 ③④ 府</p> <p>4 補助率</p> <p>① 1 / 2 ② 2 / 3</p>		
担当課・係名	森林保全課野生動物対策室	課・係 電話番号	075-414-5022

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費 特定鳥獣保護管理推進事業費		
予算額	27,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨</p> <p>特定鳥獣保護管理計画に基づく適切な被害防除、個体数管理、生息地管理を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>① クマ剥ぎ被害防止緊急対策事業 激甚な被害が発生する恐れのある市町村を対象にしたクマ剥ぎ防止テープの樹幹への巻き付け</p> <p>② ツキノワグマ保護管理事業 誤捕獲等されたツキノワグマの奥山放獣及び生息動態管理</p> <p>③ 野生鳥獣被害対策新技術開発事業 より効果的で低コストな新たな被害防止対策技術の実証、普及啓発</p> <p>④ 野生鳥獣生息動態調査事業 科学的な調査手法により現状を客観的に把握し、その結果に基づく総合的な対策の確立</p> <p>3 実施方法</p> <p>① 市町村への補助（補助率85%）</p> <p>②・④ 民間企業等への委託</p> <p>③ 府、委託</p>		
担当課・係名	森林保全課野生動物対策室	課・係 電話番号	075-414-5022

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 野生鳥獣被害対策事業費		
予算額	73,295千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 野生鳥獣による農林業等の被害が拡大する一方、生息数の減少している希少動物等の保護が求められており、共生・共存を重視しながら総合的な被害防止対策を実施する。</p> <p>2 事業概要 農林業被害を及ぼす野生鳥獣の生息域が複数の市町村にまたがり被害が多発する地域で、捕獲計画及び防除計画を策定し、有害鳥獣捕獲や有害鳥獣侵入防護柵の設置等により効果的で低コストな被害防止対策を実施する。</p> <p>3 実施主体 市町村</p> <p>4 補助率 1／2以内</p>		
担当課・係名	森林保全課野生動物対策室	課・係 電話番号	075-414-5022

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 ナラ枯れ被害対策事業費		
予算額	2,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 森林病虫害等防除法に基づいて、森林の公益的機能を維持するため、カシノナガキクイムシによるナラ類被害の防除対策を実施する。</p> <p>2 事業概要 伐倒駆除 126 m³</p> <p>3 事業主体 市町村等</p> <p>4 補助率 3 / 4</p>		
担当課・係名	森林保全課森林整備担当	課・係 電話番号	075-414-5026

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 松くい虫等防除関連事業費		
予算額	55,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 森林病虫害等防除法に基づいて、森林の公益的機能を維持するため、守るべき松林を中心に、松くい虫等の防除対策を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐倒駆除 2,524 m³ ・ 地上散布 155 ha ・ 樹幹注入 1,271 本 <p>3 事業主体 市町村等</p> <p>4 補助率</p> <p>命令防除 10 / 10 奨励防除 3 / 4 単費防除 2 / 3</p>		
担当課・係名	森林保全課森林整備担当	課・係 電話番号	075-414-5026

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事 項 名	農 林 水 産 部 関 係 公 共 事 業 費																																													
予 算 額	7, 9 5 6, 5 8 4 千円	新規・継続の別	継 続																																											
事業内容 [目 的 対 象 方 法 等]	【平成19年度農林水産部関係公共事業費】																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課名</th> <th>事 業 名</th> <th>事業主体</th> <th>予算額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">耕 地 課</td> <td>府営農業基盤整備事業</td> <td>府</td> <td>1, 314, 264</td> </tr> <tr> <td>団体営農業基盤整備事業</td> <td>市町村 土地改良区</td> <td>1, 750, 617</td> </tr> <tr> <td>国直轄事業負担金</td> <td>国 緑資源機構</td> <td>1, 881, 253</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td></td> <td>4, 946, 134</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">水 産 課</td> <td>沿岸漁場整備開発事業</td> <td>府 市町村</td> <td>139, 859</td> </tr> <tr> <td>漁港関係施設等整備事業</td> <td>府 市町村</td> <td>566, 504</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td></td> <td>706, 363</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">林 森 林 務 保 全 課</td> <td>造林事業</td> <td>市町村 森林組合等</td> <td>826, 025</td> </tr> <tr> <td>林道事業</td> <td>府 市町村</td> <td>314, 290</td> </tr> <tr> <td>治山事業</td> <td>府 市町村</td> <td>1, 163, 772</td> </tr> <tr> <td>小 計</td> <td></td> <td>2, 304, 087</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td>7, 956, 584</td> </tr> </tbody> </table>	課名	事 業 名	事業主体	予算額(千円)	耕 地 課	府営農業基盤整備事業	府	1, 314, 264	団体営農業基盤整備事業	市町村 土地改良区	1, 750, 617	国直轄事業負担金	国 緑資源機構	1, 881, 253	小 計		4, 946, 134	水 産 課	沿岸漁場整備開発事業	府 市町村	139, 859	漁港関係施設等整備事業	府 市町村	566, 504	小 計		706, 363	林 森 林 務 保 全 課	造林事業	市町村 森林組合等	826, 025	林道事業	府 市町村	314, 290	治山事業	府 市町村	1, 163, 772	小 計		2, 304, 087	合 計			7, 956, 584	
課名	事 業 名	事業主体	予算額(千円)																																											
耕 地 課	府営農業基盤整備事業	府	1, 314, 264																																											
	団体営農業基盤整備事業	市町村 土地改良区	1, 750, 617																																											
	国直轄事業負担金	国 緑資源機構	1, 881, 253																																											
	小 計		4, 946, 134																																											
水 産 課	沿岸漁場整備開発事業	府 市町村	139, 859																																											
	漁港関係施設等整備事業	府 市町村	566, 504																																											
	小 計		706, 363																																											
林 森 林 務 保 全 課	造林事業	市町村 森林組合等	826, 025																																											
	林道事業	府 市町村	314, 290																																											
	治山事業	府 市町村	1, 163, 772																																											
	小 計		2, 304, 087																																											
合 計			7, 956, 584																																											
担当課・係名	耕地課総務計画担当 水産課漁港係 森林保全課治山担当	課・係電話番号	075 - 414 - 5036 075 - 414 - 4994 075 - 414 - 5028																																											

平成19年度当初予算案主要事項説明資料

<農林水産業担い手対策事業一覧>

農 林 水 産 部

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費		
予算額	597,011千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 (目的 対象 方法等)	●趣 旨		
	京都府の農林水産業の維持・発展を支える多様な担い手づくりを進める。		
	●事業内容		
	事業名		予算額
	1	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費	29,140
	2	農業法人出資育成事業費	10,000
	3	担い手活用農地バンクシステム整備事業費	26,490
	4	農地保有合理化事業費	30,400
	5	担い手育成総合対策事業費	45,000
	6	京の稲作担い手緊急支援事業費	30,691
	7	農のあるライフスタイル実現プロジェクト推進事業費	3,000
	8	農業・農村活性化経営体づくり事業費	23,000
	9	ブランド京野菜等倍増戦略事業費	147,260
	10	伸ばそう京の特産産地づくり事業費	95,860
	11	緑の公共担い手育成事業費	4,080
	12	低コスト高生産システム技術養成事業費	2,300
	13	「丹後とり貝」育成事業費	5,200
	14	農業経営構造対策事業費	96,368
	15	林業・木材産業構造改革事業費	46,622
	16	南丹ふるさと帰農支援事業費	800
17	Second Life「京野菜パートナー」推進事業費	800	
合 計		597,011	

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費																	
予算額	29,140千円	新規・継続の別	一部新規															
事業内容 〔目的対象方法等〕	<p>1 趣旨 農林水産業の新たな担い手の確保を図るため、「農林水産業ジョブカフェ」を設置し、農林水産業への就業希望者の相談窓口となるとともに、農村地域と就業希望者の結び付けを促進するイベントの開催や、農林水産業への就業情報の提供等を行う。 併せて、新規就農希望者の研修に必要な農地、住居、指導者、担い手づくり後見人等を確保・整備し、地域において技術習得から就農まで一貫して支援する「担い手養成実践農場」を設置することにより、円滑に就農できる総合的なシステムを構築する。</p> <p>2 事業概要 (1) 農林水産業ジョブカフェ事業</p> <table border="1" data-bbox="347 1016 1422 1357"> <tr> <td data-bbox="347 1016 499 1095">実施主体</td> <td colspan="2" data-bbox="499 1016 1422 1095">京都府（京都府農業会議に委託）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1095 499 1357">事業内容</td> <td colspan="2" data-bbox="499 1095 1422 1357"> 農林水産業ジョブカフェの設置（京都テルサ内） ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動 </td> </tr> </table> <p>(2) 実践農場整備事業 就農希望者が研修を修了し就農後も同じ地域・農地で継続して営農できる「担い手養成実践農場」の整備</p> <table border="1" data-bbox="347 1541 1422 1935"> <tr> <td data-bbox="347 1541 499 1619">実施主体</td> <td data-bbox="499 1541 930 1619">府（一部を府農業開発公社に委託）</td> <td data-bbox="930 1541 1422 1619">市町村（補助金）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1619 499 1865">事業内容</td> <td data-bbox="499 1619 930 1865"> ①農場運営管理者の設置 研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ②研修期間中における農場指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担 </td> <td data-bbox="930 1619 1422 1865"> ①農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ②農地の簡易整備費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1865 499 1935">対象者</td> <td colspan="2" data-bbox="499 1865 1422 1935">新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）</td> </tr> </table> <p>○市町村に対する補助金は、地域課題対応型ふるさと推進事業費で計上</p>			実施主体	京都府（京都府農業会議に委託）		事業内容	農林水産業ジョブカフェの設置（京都テルサ内） ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動		実施主体	府（一部を府農業開発公社に委託）	市町村（補助金）	事業内容	①農場運営管理者の設置 研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ②研修期間中における農場指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担	①農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ②農地の簡易整備費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費	対象者	新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）	
実施主体	京都府（京都府農業会議に委託）																	
事業内容	農林水産業ジョブカフェの設置（京都テルサ内） ○農業・林業・水産業への新規参入希望者に対する相談業務 ○専任の相談員及び受入地域との調整を行う就農アドバイザーの設置 ○就業希望者と農村を結ぶイベントの開催や実践農場等研修先の紹介、斡旋等の就業支援活動																	
実施主体	府（一部を府農業開発公社に委託）	市町村（補助金）																
事業内容	①農場運営管理者の設置 研修終了後も同一農地で就農できる実践農場の選定 ②研修期間中における農場指導者の設置費及び農地の借上費の経費負担	①農村生活についてのアドバイスを行う担い手づくり後見人の活動費 ②農地の簡易整備費、研修用農機及びパイプハウス等研修用施設の借上費																
対象者	新規参入者（非農家出身で就農を目指す者）																	
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4908															

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 農業法人出資育成事業費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	新規
事業内容 (目的対象方法等)	<p>1 趣 旨 継続的で発展性のある農業経営の確保と担い手育成機能を発揮する農業法人化を促進するため、出資方式による支援制度を創設し、農業法人における自己資本の充実と経営強化を図る。</p> <p>2 事業概要 (1) 農業法人出資育成事業費：9,000千円 市町村、JA等が出資する京野菜等の生産に取り組む農業法人に対して出資することにより、中核的な担い手の育成と京野菜等の産地拡大を促進する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>▶出資対象法人 市町村やJA等が出資する次の事業を展開する農業法人</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 農業大学の卒業生等、新規就農者のインキュベート機能により将来の中核的な京野菜等の生産農業者を生み出す。 ② 京野菜等の計画出荷により産地の維持・拡大を図る。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>▶1法人当たりの出資金額</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上限：2千万円 (市町村及びJAの出資金額の2分の1以内) </div> <p>(2) 農業法人出資審査会設置運営費：1,000千円 農業法人出資育成事業の適正かつ円滑な出資運営を図るため、「京都府農業法人出資審査会」(仮称)を設置する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>▶審査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 出資対象法人の適格性 ○ 事業計画の妥当性等 </div>		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4902

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 担い手活用農地バンクシステム整備事業費																												
予算額	26,490千円	新規・継続の別	新規																										
事業内容 〔目的対象方法等〕	<p>1 趣 旨 都市住民や団塊の世代等の定年帰農者、さらには団地的農地利用を希望する中核的農業者・農作業受託組織など、幅広い層に対して遊休農地等の有効活用を図るするため、農地の利用権移動を行う「担い手活用農地バンクシステム（仮称）」を京都府と市町村が連携して確立する。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="363 958 1422 1924"> <thead> <tr> <th data-bbox="363 958 692 1039">事業区分</th> <th data-bbox="692 958 874 1039">事業主体</th> <th data-bbox="874 958 1422 1039">事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="363 1039 692 1211">担い手活用農地バンク設置事業</td> <td data-bbox="692 1039 874 1211">府農業開発公社</td> <td data-bbox="874 1039 1422 1211">・「担い手活用農地バンク」を設置し、農地の利用権設定や担い手の斡旋等を実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1211 512 1550" rowspan="3">担い手活用農地バンク普及啓発事業</td> <td data-bbox="512 1211 692 1346">普及啓発事業</td> <td data-bbox="692 1211 874 1346">府農業会議</td> <td data-bbox="874 1211 1422 1346">・普及啓発活動の実施 ・啓発用パンフレットの作成等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1346 692 1473">集落等取組促進事業</td> <td data-bbox="692 1346 874 1473">農業委員会</td> <td data-bbox="874 1346 1422 1473">・集落等への普及啓発活動の実施 ・農地活用に係る計画作成支援</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1473 692 1550">府指導費</td> <td data-bbox="692 1473 874 1550">府</td> <td data-bbox="874 1473 1422 1550">・事業推進に係る指導</td> </tr> <tr> <td data-bbox="363 1550 512 1803" rowspan="3">農地有効活用促進事業</td> <td data-bbox="512 1550 692 1680">面的集積強化促進事業</td> <td data-bbox="692 1550 874 1680">市町村(※)</td> <td data-bbox="874 1550 1422 1680">・農地活用計画に基づく農地の面的集積に係る促進費</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1680 692 1803">農地継承円滑化事業</td> <td data-bbox="692 1680 874 1803">府農業開発公社</td> <td data-bbox="874 1680 1422 1803">・農地バンクが利用権設定した農地に係る管理耕作経費</td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 1803 692 1924">市町村推進事業</td> <td data-bbox="692 1803 874 1924">市町村</td> <td data-bbox="874 1803 1422 1924">・農地バンクへの登録等に係る活動費 ・市町村農業公社の活動費</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 交付対象者は農用地利用改善団体等</p>			事業区分	事業主体	事業内容	担い手活用農地バンク設置事業	府農業開発公社	・「担い手活用農地バンク」を設置し、農地の利用権設定や担い手の斡旋等を実施	担い手活用農地バンク普及啓発事業	普及啓発事業	府農業会議	・普及啓発活動の実施 ・啓発用パンフレットの作成等	集落等取組促進事業	農業委員会	・集落等への普及啓発活動の実施 ・農地活用に係る計画作成支援	府指導費	府	・事業推進に係る指導	農地有効活用促進事業	面的集積強化促進事業	市町村(※)	・農地活用計画に基づく農地の面的集積に係る促進費	農地継承円滑化事業	府農業開発公社	・農地バンクが利用権設定した農地に係る管理耕作経費	市町村推進事業	市町村	・農地バンクへの登録等に係る活動費 ・市町村農業公社の活動費
	事業区分	事業主体	事業内容																										
担い手活用農地バンク設置事業	府農業開発公社	・「担い手活用農地バンク」を設置し、農地の利用権設定や担い手の斡旋等を実施																											
担い手活用農地バンク普及啓発事業	普及啓発事業	府農業会議	・普及啓発活動の実施 ・啓発用パンフレットの作成等																										
	集落等取組促進事業	農業委員会	・集落等への普及啓発活動の実施 ・農地活用に係る計画作成支援																										
	府指導費	府	・事業推進に係る指導																										
農地有効活用促進事業	面的集積強化促進事業	市町村(※)	・農地活用計画に基づく農地の面的集積に係る促進費																										
	農地継承円滑化事業	府農業開発公社	・農地バンクが利用権設定した農地に係る管理耕作経費																										
	市町村推進事業	市町村	・農地バンクへの登録等に係る活動費 ・市町村農業公社の活動費																										
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4902																										

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 農地保有合理化事業費		
予算額	30,400千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 公益法人である農地保有合理化法人（（社）京都府農業開発公社等）が、中間保有機能を活かした農地の買入れ又は借入れ、売渡し又は貸付け、及び融資等を行い、担い手への効果的な農地集積による効率的な生産体制づくりや新たな担い手への農地提供の仕組みづくりを推進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 農地保有合理化促進事業 ○農業経営の規模拡大、農地の集団化等を図るため、規模縮小農家等から農用地等を買入・借入し、担い手農家等に売渡・貸付する。 ○農地の規模拡大の際必要となる農業用機械等について、リースにより導入を支援する。</p> <p>(2) 担い手育成農作業受委託促進事業 農作業受託に係る受託料の5年以内分にあたる資金を改良資金により融資することで、認定農業者等の規模拡大と経営安定を図る。</p> <p>(3) 組織体制強化費 農地保有合理化促進事業を促進するための地方スペシャリストの設置等の補助</p> <p>3 事業主体 （社）京都府農業開発公社</p> <p>4 補助率 10／10以内</p>		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4902

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 担い手育成総合対策事業費		
予算額	45,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 高齢化の進展による担い手不足、輸入農産物の増加等による経営環境の悪化に対応するため、地域農業の中核となる効率的かつ安定的な担い手を育成することが喫緊の課題となっている。 そこで、認定農業者の確保と継続して農業を行う経営体への育成、農業法人化、集落営農の組織化・法人化を通じて担い手を明確にするとともに、これらの担い手に対する効率的な農地集積を支援することにより担い手の安定的な経営発展を促進する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 地域担い手育成総合支援協議会活動強化事業</p> <p>①地域担い手育成総合支援協議会の運営 ②担い手支援対策 ③法人化支援対策 ④集落営農の組織化支援対策</p> <p>担い手の育成・支援や農地流動化、産地づくり、地域農場づくり等地域の農業振興課題について、関係機関及び団体が必要な情報と課題を共有し、総合的な議論や役割分担を行う場として協議会を設置し、計画の策定や必要な事業を実施する。 ＜補助率：1/2以内（府費）・事業主体：地域担い手育成総合支援協議会＞</p> <p>(2) 担い手育成支援団体推進事業</p> <p>①協議会運営活動 ②認定農業者の確保・育成支援活動 ③農業法人の育成・法人化支援活動 ④集落営農の組織化・法人化支援活動</p> <p>認定農業者、法人組織等の担い手の育成・確保を図り、地域の実態にあった地域農業のしくみづくりを行うため、関係機関・団体が一体となって協議会を設立し、計画の策定と、その具体化に必要な事業を実施 ＜補助率：①～③10/10以内（府費）、④1/2以内（府費） ・事業主体：京都府担い手育成総合支援協議会＞</p> <p>(3) 農作業受託組織等法人化サポート事業</p> <p>各個人の農地利用権を法人に集積し、個人所有の農業用機械の整理合理化を実施した法人が、必要とする高生産性農業用機械の新規導入を支援する。 ＜補助率：1/2以内（国庫） 事業主体 農業法人等＞</p>		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4918

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 京の稲作担い手緊急支援事業費		
予算額	30,691千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣旨 平成19年度から国において「品目横断的経営安定対策」が施行され、一定の要件を満たす認定農業者や集落営農組織について米、麦、大豆等を対象とした新たな経営安定対策が実施されることとなっている。 農作業受託組織等が、品目横断的経営安定対策の対象となるよう、規模拡大や経営改善等に向けた取組に必要な支援を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>① 規模拡大支援（以下のア～ウの事業から1つ選択）</p> <p>ア 農業機械導入補助 規模拡大に必要な農業用機械の購入経費に対する補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【補助率】 1/3以内</p> <p>イ 農業機械リース補助 規模拡大に必要な農業用機械のリース料に対する補助 【事業主体】 京都府農業開発公社 (対象は農作業受託組織、農業法人) 【補助率】 1/3以内</p> <p>ウ 農作業受託及び利用権設定 農作業受託、利用権設定で規模拡大面積見合いで補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【交付単価】 7千円/10a(定額)</p> <p>② 経理一元化支援 経理の一元化に必要な経理用機器の購入経費に対する補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【補助率】 1/3以内</p>		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4918

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 農のあるライフスタイル実現プロジェクト推進事業費								
予算額	3,000千円	新規・継続の別	継続						
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨</p> <p>農山村部で進行する担い手不足の中、長寿化に伴う新たな暮らし方として「農のあるライフスタイル」を求め、農山村に移り住んだ都市住民を農山村の多様な担い手として位置付け、共に地域の環境を守り、生き生きした農山村づくりを進める。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農のあるライフスタイル提案事業</p> <p>都市住民の農山村への定住を確実に進めるために、都市住民の受入れを考えている農村集落が田舎暮らしの希望者を対象に農村住宅の見学会や地域の暮らし・農作業の相談を行うなど、都市住民と農村住民のマッチングにつながる企画を実施する。</p> <p>(2) 京の田舎ぐらしナビゲーター事業</p> <p>田舎暮らしに必要な地域の共同作業や各種行事、住居等に関する相談を都市住民から受ける地域の相談役を、「京の田舎ぐらしナビゲーター」として認定し、その活動を支援する。</p> <p>(3) 京の田舎ぐらし・ふるさとセンター事業</p> <p>農のある暮らしを求める人の田舎暮らし相談に応じるとともに、希望者に応じた農村地域や京の田舎ぐらしナビゲーターの紹介、田舎ぐらし情報等の提供を行う。 (http://www.agr-k.or.jp/%7Ekkyoto-j/index.shtml)</p> <table border="1" data-bbox="379 1639 1422 1980"> <tr> <td data-bbox="379 1639 528 1709">開設日</td> <td data-bbox="528 1639 1422 1709">平成17年11月20日(日)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1709 528 1778">事務局</td> <td data-bbox="528 1709 1422 1778">京都府農業会議</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1778 528 1980">事業内容</td> <td data-bbox="528 1778 1422 1980"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農山村暮らしに関する窓口・電話相談への対応 ・ 京都府等が行う田舎暮らしに関する各種講座等の紹介 ・ 府内の農山村の就農情報、生活情報、住居情報などの提供 ・ 住居情報を提供している市町村窓口の紹介 ・ 京の田舎ぐらしナビゲーターの紹介等 </td> </tr> </table>			開設日	平成17年11月20日(日)	事務局	京都府農業会議	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農山村暮らしに関する窓口・電話相談への対応 ・ 京都府等が行う田舎暮らしに関する各種講座等の紹介 ・ 府内の農山村の就農情報、生活情報、住居情報などの提供 ・ 住居情報を提供している市町村窓口の紹介 ・ 京の田舎ぐらしナビゲーターの紹介等
開設日	平成17年11月20日(日)								
事務局	京都府農業会議								
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農山村暮らしに関する窓口・電話相談への対応 ・ 京都府等が行う田舎暮らしに関する各種講座等の紹介 ・ 府内の農山村の就農情報、生活情報、住居情報などの提供 ・ 住居情報を提供している市町村窓口の紹介 ・ 京の田舎ぐらしナビゲーターの紹介等 								
担当課・係名	農村振興課 地域振興担当	課・係 電話番号	075-414-4900						

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 農業・農村活性化経営体づくり事業費		
予算額	23,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 事業趣旨</p> <p>米価が低迷する中で、中山間地域の多い京都では稲作の省力化、低コスト化にも限界があり、従来、京都府農政の重点事業として実施してきた「地域農場づくり事業」による担い手構造をより発展させなければ地域農業を守り、農村を支えることは困難となっている。</p> <p>さらに、国においては認定農業者への一層の施策集中を行っており、多様な担い手の結集力が地域農業の存続を左右する京都農業としては独自の施策が必要となっている。</p> <p>そこで、農地や農産物、人材などの地域資源をうまく組み合わせて農業経営する農業・農村活性化経営体を地域から創り出し、地域と連携する中で経営力を発揮するようしくみづくりを支援する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 農業・農村活性化委員会活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業主体；農業・農村活性化委員会 ○事業期間；3年 ○補助率；農業・農村活性化委員会活動費 1／2以内 アドバイザー契約費 定額 ○事業内容；農業・農村活性化委員会がアドバイザーを活用することにより、それぞれの地域にあった農業・農村活性化経営体を創出し、この経営体と地域農業とが連携するしくみづくりを行う。 <p>(2) 条件整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業主体；農業・農村活性化委員会又は農業者等の組織する団体等 ○事業期間；2年 ○補助率；4／10以内 ○事業内容；農業・農村活性化委員会の策定した計画を実践するために必要な機械・施設の整備 <ul style="list-style-type: none"> ◆水稻生産用機械・施設 ◆農産物販売・加工用の機械・施設の購入、施設の改修 ◆市民農園、観光農園等の農地簡易整備等 ◆その他知事が特に認めるもの 		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4918

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 ブランド京野菜等倍増戦略事業費		
予算額	147,260千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	○京野菜こだわりプロジェクト推進事業費 122,260千円		
	1 趣 旨		
	京都ならではの環境にやさしい農業への取組や、栽培方法等に係る情報の提供等を要件とした「京都こだわり栽培」の総合的な推進により、消費者等への信頼感を向上させ、ブランド京野菜の付加価値を高める。		
	2 内 容		
	事業名	事業内容	⑱予算額
	京野菜こだわり技術の実証、研究、普及事業	○土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等) ○環境にやさしい農業技術の実証・普及、研究・開発	千円 8,260
	京野菜こだわり産地支援事業	○京都こだわり農法の導入活動支援 ○京都こだわり農法実践条件整備支援	100,000
	京都こだわり生産認証事業	○京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営	14,000
	○ブランド京野菜等倍増戦略推進事業費 25,000千円		
	1 趣 旨		
確かなものづくりにより京野菜の魅力を更に強化し、ブランドイメージを高めるとともに、ブランド京野菜を多くの消費者・流通関係者にPRし、需要の拡大を図る。			
2 事業内容			
事業名	事業内容	⑱予算額	
「京マーク」等PR事業	○「京マーク」や京野菜の品質の良さをメディアを活用してPR(府内、首都圏)	千円 6,000	
ブランド京野菜信頼感向上支援事業	○ブランド京野菜等地域団体商標キャンペーンの実施	2,500	
府内戦略構築事業	○京野菜検定の実施 ○京野菜ファンクラブの運営	4,500	
首都圏等戦略構築事業	○「ほんまもん京野菜取扱店」の開拓(開拓員の設置を含む。)・選定、京野菜フェアの開催、試食販売の実施、ブランド京野菜等グルメ企画の実施	12,000	
担当課 ・係名	京の農林水産物ブランド推進プロジェクト 農産流通課 野菜係 環境保全係	課・係直通 電話番号	075-414-4940 4944 4967

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 伸ばそう京の特産産地づくり支援事業費		
予算額	95,860千円	新規・継続の別	新規
事業内容 [目的 対象 方法等]	1 趣 旨		
	平成19年度から国において品目横断的経営安定対策が実施される中、本対策に参加できない中小規模農家が多い本府農業実態を踏まえ、環境等にこだわった市場競争力の高い京都米づくりと京都の立地条件を生かした有利販売を促進するとともに、実需業界からの評価が高い小豆、黒大豆を中心に、幅広い生産・出荷対策を講じ、京都らしい持続的な特産産地づくりを進め、収益性の高い水田農業の確立を図る。		
	2 事業概要 (単位：千円)		
	(1) 京の米 産地づくり事業費 58,000千円		
	事業内容		事業費
	環境等にこだわった米の生産に必要な農業機械への助成		10,550
	特別栽培米等の生産・出荷体制整備等に係る活動支援		1,650
	食味ランキング「特A」獲得に向けた食味向上促進、良食味栽培モデルほ場の設置 等		1,800
	米政策改革に係る地域水田農業推進協議会等の活動支援等		44,000
	(2) 「食べよう京都米」作戦推進事業費 5,000千円		
事業内容		事業費	
京都米の認知度向上、地元企業や京料理店等への販売促進活動、「京都米販売協力店」設置促進等への助成		2,000	
京都米の食味試験、残留農薬検査等安心感向上対策への助成		1,700	
米の販売力強化や新たな販路開拓に向けたセミナーの開催		300	
直売所等における安心・安全確保対策への助成		1,000	
(3) 京の黒大豆・小豆等産地づくり事業費 32,860千円			
事業内容		事業費	
小豆、黒大豆生産に係る農業機械への助成		15,500	
新たな産地づくりのための実証活動への助成		3,000	
・生産、実需者、販売者等関係者による情報交換会等実施 ・生産者部会づくりに対する助成 等		1,900	
麦・白大豆等に係る農業機械整備、品質向上対策等への助成		12,460	
担当課・係名	農産流通課 農産係	課・係 電話番号	075-414-4955

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>農林水産業担い手対策事業費 緑の公共担い手育成事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>4,080千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 林業労働者の高齢化等により担い手が年々減少している中で、新たな林業労働者の育成と地域での定着を促進するため、林業への本格的な就業を希望する者を対象に、技術習得のための実地研修を行い、即戦力となる担い手を養成する。</p> <p>2 事業概要 森林整備の実地研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象人数 12人 ・ 研修期間 100日間 ・ 研修方法 2人の指導員が研修生5人を指導 ・ 研修場所 府有林、公社造林地 ほか <p>3 実施方法 (財)京都府林業労働支援センターへの委託</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>林務課計画指導担当</p>	<p>課・係・電話番号</p>	<p>075-414-5002</p>

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 低コスト高生産システム技術養成事業費		
予算額	2,300千円	新規・継続の別	新規
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣旨</p> <p>林業採算性が悪化している現状において、森林整備の推進には作業路網の整備や高性能林業機械等を活用したコスト削減が不可欠であり、それを担う人材の育成・確保が必要である。</p> <p>そのため、高性能林業機械等を使用した低コスト林業の実践的な研修を実施することにより、低コスト林業推進の基幹的な担い手の養成を行う。</p> <p>2 事業内容</p> <p>森林組合等の作業員に対して、高性能林業機械等を使用した低コスト林業実践のための実地研修を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 低コスト作業路網の開設 ○ 高性能林業機械による伐木・集運材 (スイングヤーダ、プロセッサ、フォワーダ 等) <p>3 実施方法</p> <p>(財)京都府林業労働支援センターへの委託</p>		
担当課・係名	林務課 計画指導担当	課・係 電話番号	075-414-5002

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 「丹後とり貝」育成事業費		
予算額	5,200千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	<p>1 目 的</p> <p>「丹後とり貝」の生産拡大のための支援や、意欲ある担い手を育成することにより、生産額1億円（21年度）の実現を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <p>(1) 生産規模拡大の支援 4,750千円 トリガイ養殖筏等の整備に対して支援する。</p> <p>①事業主体 漁業協同組合 ②補助対象経費 トリガイ養殖筏及び関連資材 ③補助率 1／2</p> <p>(2) 養殖技術・経営研修会の開催 450千円 養殖技術の向上や漁業経営安定化の研修会を実施する。</p>		
担当課・係名	水 産 課 漁 政 係	課・係電話番号	075-414-4992

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 農業経営構造対策事業費																	
予算額	96,368千円	新規・継続の別	継続															
事業内容 〔目的 対象 方法等〕	<p>1 趣 旨 地域ぐるみで農業構造を変革していくため、認定農業者、新規就農者、女性・高齢者等地域農業に関わる幅広い関係者の合意形成を前提として、生産、流通、加工、都市農村交流等の施設を総合的に整備することにより、地域の担い手となるべき経営体の確保・育成を図る。</p> <p>2 事業実施主体 市町村、第3セクター、農業者等の組織する団体等</p> <p>3 施設等整備メニュー (1) 土地基盤整備 (2) 農畜産物集出荷貯蔵施設 (3) 産地形成促進施設（農産物直売所等） (4) 高生産性農業用機械施設 (5) 高品質堆肥製造施設 ほか</p> <p>4 補助率</p> <table border="1" data-bbox="387 1420 1355 1626"> <thead> <tr> <th></th> <th>国 費</th> <th>府 費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土地基盤整備</td> <td>1 / 2</td> <td>15 / 100</td> </tr> <tr> <td>施設整備（生産関連施設）</td> <td>1 / 2</td> <td>5 / 100</td> </tr> <tr> <td>施設整備（生産関連施設以外）</td> <td>1 / 2</td> <td>4 / 100</td> </tr> <tr> <td>農業用機械</td> <td>1 / 3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>5 平成19年度の実施予定 3地区</p>				国 費	府 費	土地基盤整備	1 / 2	15 / 100	施設整備（生産関連施設）	1 / 2	5 / 100	施設整備（生産関連施設以外）	1 / 2	4 / 100	農業用機械	1 / 3	0
	国 費	府 費																
土地基盤整備	1 / 2	15 / 100																
施設整備（生産関連施設）	1 / 2	5 / 100																
施設整備（生産関連施設以外）	1 / 2	4 / 100																
農業用機械	1 / 3	0																
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4908															

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	農林水産業担い手対策事業費 林業・木材産業構造改革事業費		
予算額	46,622千円	新規・継続の別	継続
事業内容 (目的 対象 方法等)	<p>1 趣旨 林業の持続的かつ健全な発展と、林産物の供給・利用の確保を強力に推進する観点から、経営や施業の担い手の育成、競争力のある木材産地の形成と府内産材の安定的な供給及び利用促進を図るために施設整備等の事業を実施する。</p> <p>2 事業概要 低コスト作業道と高性能林業機械を組み合わせた低コスト生産を行う林業事業体をモデル的に育成するため、高密作業路網の整備と機械化に取り組み、一定の生産性の向上と生産量の増加が見込める事業体に補助する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 事業内容 低コスト作業道の作設、高性能林業機械の整備等 ◆ 事業主体 林業事業体（民間素材生産業者） 〔年間3,000 m³以上の素材生産実績を持ち、一定の素材生産性の向上と生産量の増加が見込まれる事業体〕 ◆ 補助率 路網整備（低コスト作業道開設） 1／2 機械整備 〔高性能林業機械 4／10 その他林業機械 1／3〕 ◆ 事業期間 平成19年度～平成21年度 		
担当課・係名	林務課 林産振興担当	課・係 電話番号	075-414-5009

平成19年度当初予算案主要事項説明資料

<京の稲作農家総合支援事業一覧>

農 林 水 産 部

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	京の稲作農家総合支援事業費			
予算額	867,802千円	新規・継続の別	一部新規	
事業内容 (目的対象方法等)	●趣 旨 平成19年度からの国の「品目横断的経営安定対策事業」の実施を見すえ、京都府の特色を生かした多面的な農業施策を展開し、農家経営及び農村環境の維持・向上を目指す。			
	●事業内容			
	区分	事業名	予算額	課名
	品目横断的経営安定対策参加促進	京の稲作担い手緊急支援事業費	30,691	農村
	品目横断的経営安定対策に参加できない中小規模農家の収益性の高い農業の取組支援	伸ばそう京の特産産地づくり支援事業費	95,860	農産
		京の米 産地づくり事業費	58,000	
		「食べよう京都米」作戦推進事業費	5,000	
		京の黒大豆・小豆等産地づくり事業費	32,860	
		京野菜こだわり産地支援事業費	98,200	農産
		小 計	194,060	
	農地等の荒廃防止、環境保全に向けた地域ぐるみの取組への支援	あすの農村を守る地域力再生活動支援事業費	643,051	
		農と環境を守る地域協働活動支援事業費	150,672	耕地・農産
		中山間地域等直接支払事業費	492,379	農村
		小 計	643,051	
		合 計	867,802	
課 名	室・係・担当	電話番号		
農村振興課	担い手育成担当	075-414-4902		
農産流通課	(農産係 野菜係 環境保全係)	(075-414-4953 075-414-4944 075-414-4944)		
耕地課	田園整備担当	075-414-5051		

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	京の稲作農家総合支援事業費 京の稲作担い手緊急支援事業費		
予算額	30,691千円	新規・継続の別	継続
事業内容 〔 目的 対象 方法等 〕	<p>1 趣 旨 平成19年度から国において「品目横断的経営安定対策」が施行され、一定の要件を満たす認定農業者や集落営農組織について米、麦、大豆等を対象とした新たな経営安定対策が実施されることとなっている。 農作業受託組織等が、品目横断的経営安定対策の対象となるよう、規模拡大や経営改善等に向けた取組に必要な支援を実施する。</p> <p>2 事業内容</p> <p>① 規模拡大支援（以下のア～ウの事業から1つ選択）</p> <p>ア 農業機械導入補助 規模拡大に必要な農業用機械の購入経費に対する補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【補助率】 1／3以内</p> <p>イ 農業機械リース補助 規模拡大に必要な農業用機械のリース料に対する補助 【事業主体】 京都府農業開発公社 (対象は農作業受託組織、農業法人) 【補助率】 1／3以内</p> <p>ウ 農作業受託及び利用権設定 農作業受託、利用権設定で規模拡大面積見合いで補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【交付単価】 7千円／10a（定 額）</p> <p>② 経理一元化支援 経理の一元化に必要な経理用機器の購入経費に対する補助 【事業主体】 農作業受託組織、農業法人 【補助率】 1／3以内</p>		
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4918

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	京の稲作農家総合支援事業費 伸ばそう京の特産産地づくり支援事業費		
予算額	95,860千円	新規・継続の別	新規
事業内容 [目的 対象 方法等]	1 趣旨		
	平成19年度から国において品目横断的経営安定対策が実施される中、本対策に参加できない中小規模農家が多い本府農業実態を踏まえ、環境等にこだわった市場競争力の高い京都米づくりと京都の立地条件を生かした有利販売を促進するとともに、実需業界からの評価が高い小豆、黒大豆を中心に、幅広い生産・出荷対策を講じ、京都らしい持続的な特産産地づくりを進め、収益性の高い水田農業の確立を図る。		
	2 事業概要 (単位：千円)		
	(1) 京の米 産地づくり事業費 58,000千円		
	事業内容		事業費
	環境等にこだわった米の生産に必要な農業機械への助成		10,550
	特別栽培米等の生産・出荷体制整備等に係る活動支援		1,650
	食味ランキング「特A」獲得に向けた食味向上促進、良食味栽培モデルほ場の設置 等		1,800
	米政策改革に係る地域水田農業推進協議会等の活動支援等		44,000
	(2) 「食べよう京都米」作戦推進事業費 5,000千円		
事業内容		事業費	
京都米の認知度向上、地元企業や京料理店等への販売促進活動、「京都米販売協力店」設置促進等への助成		2,000	
京都米の食味試験、残留農薬検査等安心感向上対策への助成		1,700	
米の販売力強化や新たな販路開拓に向けたセミナーの開催		300	
直売所等における安心・安全確保対策への助成		1,000	
(3) 京の黒大豆・小豆等産地づくり事業費 32,860千円			
事業内容		事業費	
小豆、黒大豆生産に係る農業機械への助成		15,500	
新たな産地づくりのための実証活動への助成		3,000	
・生産、実需者、販売者等関係者による情報交換会等実施 ・生産者部会づくりに対する助成 等		1,900	
麦・白大豆等に係る農業機械整備、品質向上対策等への助成		12,460	
担当課・係名	農産流通課 農産係	課・係 電話番号	075-414-4955

平成19年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の稲作農家総合支援事業費 京野菜こだわり産地支援事業費		
予算額	98,200千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 目的 対象 方法等	<p>1 趣 旨</p> <p>京都ならではの環境にやさしい「京都こだわり農法」の実践に必要な生産から流通に関わる条件整備を推進し、ブランド京野菜等の生産・出荷量の拡大を図る。</p> <p>2 内 容</p> <p>パイプハウスの整備及び生産・流通改善条件の整備</p> <p>(1) 事業実施主体 市町村、全農京都、農協、農業法人、農業者が組織する団体ほか</p> <p>(2) 補助対象 パイプハウス（灌水設備等付帯施設を含む）、生産管理用機械・施設、集出荷貯蔵調製機械・施設等の導入に係る経費</p> <p>(3) 補助率 5／10以内、4.5／10以内、4／10以内</p>		
担当課・係名	農産流通課 野 菜 係	電 話 番 号	075-414-4944

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	京の稲作農家総合支援事業費 農と環境を守る地域協働活動支援事業費															
予算額	150,672千円	新規・継続の別	新規													
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣旨 地域ぐるみで農地や農業用水等の保全を行う協働活動と、化学肥料及び化学農薬使用の低減の取組等を総合的に支援することにより、農地・水・農村環境といった資源の保全を図るとともに、環境への負荷を低減する営農活動を推進することにより、地域コミュニティづくりをはじめとした地域力の再生を図る。</p> <p>2 事業内容</p> <table border="1" data-bbox="469 1005 1339 1832"> <thead> <tr> <th data-bbox="469 1005 628 1090">区分</th> <th data-bbox="628 1005 1209 1090">事業内容</th> <th data-bbox="1209 1005 1339 1090">予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="469 1090 628 1420">農地・水・農村環境保全向上活動支援事業</td> <td data-bbox="628 1090 1209 1420"> <p>農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの協働活動を総合的に支援する。</p> <table border="1" data-bbox="639 1294 1209 1420"> <tr> <td data-bbox="639 1294 783 1420">支援単価</td> <td data-bbox="783 1294 1209 1420">水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円</td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="1209 1090 1339 1420">140,400 千円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="469 1420 628 1832">環境保全・自然共生農業推進事業</td> <td data-bbox="628 1420 1209 1832"> <p>上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。</p> <table border="1" data-bbox="639 1626 1209 1832"> <tr> <td data-bbox="639 1626 783 1832">支援単価</td> <td data-bbox="783 1626 1209 1832">(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円<small>（※）</small></td> </tr> </table> </td> <td data-bbox="1209 1420 1339 1832">10,272 千円</td> </tr> </tbody> </table>			区分	事業内容	予算額	農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	<p>農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの協働活動を総合的に支援する。</p> <table border="1" data-bbox="639 1294 1209 1420"> <tr> <td data-bbox="639 1294 783 1420">支援単価</td> <td data-bbox="783 1294 1209 1420">水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円</td> </tr> </table>	支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円	140,400 千円	環境保全・自然共生農業推進事業	<p>上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。</p> <table border="1" data-bbox="639 1626 1209 1832"> <tr> <td data-bbox="639 1626 783 1832">支援単価</td> <td data-bbox="783 1626 1209 1832">(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円<small>（※）</small></td> </tr> </table>	支援単価	(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円 <small>（※）</small>	10,272 千円
区分	事業内容	予算額														
農地・水・農村環境保全向上活動支援事業	<p>農地の保全、水路の泥上げ・草刈りなど資源の適切な保全に加え、施設の長寿命化や景観形成などの効果の高い地域ぐるみの協働活動を総合的に支援する。</p> <table border="1" data-bbox="639 1294 1209 1420"> <tr> <td data-bbox="639 1294 783 1420">支援単価</td> <td data-bbox="783 1294 1209 1420">水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円</td> </tr> </table>	支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円	140,400 千円												
支援単価	水田 10a 当たり 4,400 円 畑 10a 当たり 2,800 円															
環境保全・自然共生農業推進事業	<p>上記事業に取り組む活動組織・集落のうち、技術の実証・土壌調査などの営農基礎活動及び農薬や化学肥料の使用を5割以上削減する先進的営農活動を支援する。</p> <table border="1" data-bbox="639 1626 1209 1832"> <tr> <td data-bbox="639 1626 783 1832">支援単価</td> <td data-bbox="783 1626 1209 1832">(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円<small>（※）</small></td> </tr> </table>	支援単価	(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円 <small>（※）</small>	10,272 千円												
支援単価	(1) 営農基礎活動 1 地区当たり 20 万円 (2) 先進的営農活動 水稲 10a 当たり 6,000 円 <small>（※）</small>															
担当課・係名	耕地課 田園整備担当 農産流通課 環境保全係	課・係 電話番号	075 - 414 - 5051 075 - 414 - 4967													

平成19年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	京の稲作農家総合支援事業費 中山間地域等直接支払事業費																																						
予算額	492,379千円	新規・継続の別	継続																																				
事業内容 （目的 対象 方法等）	<p>1 趣旨 耕作放棄地の増加等により多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保するという観点から直接支払を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)対象地域：地域振興8法（特定農山村・山村・過疎・半島等）及び知事特認地域</p> <p>(2)対象農用地：農振農用地区域内の一団の農用地（1 ha以上）であって、以下の基準を満たすもの</p> <p>①急傾斜農用地（田 1/20、畑 15度以上）</p> <p>②自然条件により小区画・不整形な田</p> <p>③緩傾斜農用地（田 1/100、畑 8度以上）、又は高齢化率・耕作放棄率の高い農用地で市町村長が特に必要と認めるもの</p> <p>(3)対象行為：集落協定等に基づき、5年間以上継続して行われる農業生産活動等</p> <p>(4)対象者：集落協定等に基づき、5年間以上継続して農業生産活動等を行う者</p> <p>(5)実施期間：平成17年度～21年度</p> <p>(6)交付単価：（単位：円／10a）</p> <table border="1" data-bbox="387 1301 1474 1451"> <tr> <td></td> <td>急傾斜 (田 1/20～、畑 15度～)</td> <td>緩傾斜等 (田 1/100～、畑 8度～)</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>21,000</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>11,500</td> <td>3,500</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="387 1451 1474 1637"> <tr> <td>※加算単価</td> <td>水田</td> <td>畑</td> </tr> <tr> <td>規模拡大加算</td> <td>1,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>土地利用調整加算</td> <td>500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>耕地放棄地復旧加算</td> <td>1,500</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>法人設立加算</td> <td>1,000</td> <td>750</td> </tr> </table> <p>※ただし、農業生産活動等の体制整備として取り組むべき事項を実施しない場合には、上記単価に0.8を乗じた額とする。</p> <p>(7)実施主体：市町村</p> <p>(8)負担区分：</p> <table border="1" data-bbox="387 1787 1145 1899"> <tr> <td></td> <td>国</td> <td>府</td> <td>市町村</td> </tr> <tr> <td>8法地域</td> <td>1/2</td> <td>1/4</td> <td>1/4</td> </tr> <tr> <td>特認</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> <td>1/3</td> </tr> </table> <p>(9)平成19年度対象見込面積 5,142 ha（田：5,080 ha、畑：62 ha）</p>				急傾斜 (田 1/20～、畑 15度～)	緩傾斜等 (田 1/100～、畑 8度～)	田	21,000	8,000	畑	11,500	3,500	※加算単価	水田	畑	規模拡大加算	1,500	500	土地利用調整加算	500	500	耕地放棄地復旧加算	1,500	500	法人設立加算	1,000	750		国	府	市町村	8法地域	1/2	1/4	1/4	特認	1/3	1/3	1/3
	急傾斜 (田 1/20～、畑 15度～)	緩傾斜等 (田 1/100～、畑 8度～)																																					
田	21,000	8,000																																					
畑	11,500	3,500																																					
※加算単価	水田	畑																																					
規模拡大加算	1,500	500																																					
土地利用調整加算	500	500																																					
耕地放棄地復旧加算	1,500	500																																					
法人設立加算	1,000	750																																					
	国	府	市町村																																				
8法地域	1/2	1/4	1/4																																				
特認	1/3	1/3	1/3																																				
担当課・係名	農村振興課 担い手育成担当	課・係 電話番号	075-414-4908																																				